

# 国際交流センター

## NEWSLETTER

Dec. 2018 Vol. 53

### グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン)参加者の感想

8月12日(日)~9月1日(土)の21日間、フィリピンセブ島にてグローバル女性人材養成プログラムの研修が行われました。12名の学生が参加し、QQイングリッシュ(シーフロント校)にて英語漬けの毎日をお過ごしました。参加した学生の感想を紹介します。



#### どのような内容でしたか？

初日にレベルチェックテストを受け、個人に合わせたカリキュラムが組まれた。

「グループレッスン」では授業ごとにテーマとそれにまつわる語彙を扱い、またそれについて生徒同士で話し合った。授業中知らない単語が出てくれば質問し、その意味をノートに書く時は日本語ではなく英語で書いた。また一日の授業後には翌日の予習と、復習として授業中に作ったノートを別のノートで見やすくまとめ直した。毎日日記を書いたが、日記には授業で学んだ単語を積極的に用いた。



「カランメソッド」では英語の反射能力を高めるために日本語で文を考えることなく返答をする練習を、発音では似たような発音の単語の微妙な違いについても矯正してもらい自分の発音の悪い癖を見つけることができました。日常英語では主に感情に関する形容詞を使った文の作成や絵をみて状況を推測し説明する練習をしました。

「デイリーイングリッシュ」ではイディオムをたくさん習い、日常会話でも使う場面が多々あることを実感しました。授業で出てきた単語の中に知らないものがあれば説明してくれたり、ある単語から違う話題に話が飛ぶことも多かったですが、雑談も英語なのですべて意味のあるものだったと思います。

レッスンを通して、英語だけでなくフィリピンやその国に生きる人々についても様々な情報を得ることができました。

### Inside This Issue



グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン)参加者の感想



グローバル女性人材養成プログラム(中国)参加者の感想



留学生のための日本文化体験事業

## 目標は達成できましたか？

英語の語学能力向上、異文化理解、コミュニケーションをとるのが最初に立てた目標でした。今振り返ってみると、どれも自分の立てた目標点は達成できたと感じます。特に交友関係の輪を広げ、他国の友人もたくさん作ることができ、SNSなどを通してこの研修が終了した後も連絡が取り合える多くの友人を得た事は、日本ではできないことなのでとてもうれしいです。

マンツーマンのレッスンの中で、現地の言葉や伝統食、フィリピンではやっている曲や日本のアニメに至るまで、様々な話題についてお話しすることができ、文化についての理解が深まっただけでなく、コミュニケーション能力も大いに向上したと思う。

マンツーマンレッスンの時にわからないことがあっても沈黙しないという目標は、完全には達成できませんでした。先生の質問の意味が分からなかったり聞き取れなかったりしたときに黙ってしまうことが何度かあったので、すぐに聞き返す癖をつけたいと思います。グループレッスンで積極的に話すという目標も、完全には達成できませんでした。グループに積極的に話す人がいると自分があまり話さなくても進んでしまうので話す機会が減ってしまいました。私の先生は一人一人に意見を求めるやり方だったので全く発言しないということにはなりませんでしたが、もう少し積極的に話すこともできたのではないかと思います。

最大の目標であったリスニング力を上げるというのは達成できたと思う。研修前は聞いた英語を一度日本語に直してから理解していたけれど、研修後は英語のまま理解できるようになった。

フレンドリーな講師の方々の授業を受けるうち、自信を持って話したいという気持ちが生まれた。大切なのはスキル以上に**パッション**であるということを教わった。「英語で話す」ということの億劫さが少し解消された。新しい語彙も増え、毎晩ノートを見返したり、日記を書いたりした。その甲斐あって、最終週に行われたプログレステストで出たグレードは、初日に受けたテストより2段階上がっていた。



## 今後の課題は？

- \* まずはTOEIC等の英語試験を受けて英語力を把握したい。また、**来年の留学に向けた学習計画を立て、更なる英語力の向上に努めたい。**
- \* 日本では当たり前だと思っていたことが世界では当たり前ではなかったりと、視野が広がったように感じます。今後も英語の勉強を続け**積極的に国際交流に取り組んでいきたい**と考えています。
- \* TOEICの対策を中心に英語学習を進めながら、セブ島で得たリスニング力を落とさないように、何かしらの英語に触れて生活していきたい。
- \* 来年は**日本人が少ない場所への留学を自分で計画し、それに向けて英語の練習や勉強、TOEICなどの挑戦を続けていきたい。**
- \* フィリピン人の先生方に共通していた、**なにより家族を大切に**する心など、現地で学んだことを今後も忘れずに過ごしていきたい。

# グローバル女性人材養成プログラム(中国)参加者の感想

8月18日(土)～9月17日(月)の31日間、中国南京大学にて4名の学生が参加し、グローバル女性人材養成プログラムの研修が行われました。中国語での授業や文化体験など参加した学生の感想を紹介します。

## 参加した目的は？

- \* 1年生の時に習った中国語を使って中国人と交流し、実際に行ってみないとわからないような中国の文化などを肌で感じるため。
- \* 中国に対して偏ったイメージばかり持っていたため、実際に自分の目で中国を見てみたかった。また、現地で生活することで生きた中国語を学ぶことができ、中国語レベルの向上につながると思ったから。

## 参加して感じたことは？

### (授業について)

初日の授業から、すべて中国語で進じたため、中国語の能力が高くない自分からするとかなりハードな授業だった。また、中国語学科のクラスメイトも多く、能力の差が激しかったため、授業について行くのに必死だった。しかし、毎日毎日中国語を聞いて過ごしていると、最後には先生の言っていることをずいぶん理解できるようになった。

### (中国文化体験)

中国結びや切り絵は有名ですが、今回自分で製作してみて、その繊細さや大変さがよくわかりました。その後、中国伝統の工芸品をみると、感じ方が以前と違いました。

### (学生交流について)

毎週土曜日の昼から、老門東や玄武湖などの観光地に一緒に行き、観光の後は晩御飯を一緒に食べた。晩御飯も、現地の人だから知っている美味しいお店に連れて行ってもらえた。日本語を勉強している学生との交流だったため、中国語と日本語を交えて会話をした。

### (驚いたこと)

実際に南京で生活してみて中国に対するイメージががらりと変わった。食べ物はとても美味しくても安い。日本食の店やスイーツの店なども充実しており、毎日どの店で食事をしようか楽しみなほどだった。近くのスーパーには日用品が揃っており、モノに困ることはほとんど無かった。



### (どのような能力がついたか)

中国語しか話せない相手に中国語でどういう風に言うべきかわからない時は、ジェスチャーをしたり、できる限り近い表現に言い換えたりしたのですが、その時に普段どれだけ言語に頼っているかを思い知りました。さらに私は、初めて行く場所でわからないことがあっても堂々と中国語で尋ねたり、本当に何を言えばいいかわからなかった場合は英語を使ったりして、失敗を恐れずにコミュニケーションをすることができるようになりました。

## 留学生のための日本文化体験事業

留学生が日本文化を体験できるイベントとして、いけばな教室・茶道教室を開催しました。体験した留学生の感想を一部ご紹介します。

### IKEBANA教室

11月7日(水)実施



- \* 基本的な知識を学んで先生の作品を見た。とても綺麗だった。自分の作品を終わって、みんな驚いた。同じ材料、同じ先生なのに、最後に完成した作品の風格は全然違う。それは不思議だと思う。本当に面白い。生け花はとても魅力的だ。
- \* 日本語の勉強はもちろん、花の種類や、華道文化などについてもよく勉強ができました。花をいけるときも、人間と同じ、少し距離を置いたほうが、敬意が伝わり、気持ちよく感じられるそうです。さすが日本の文化だけあって、つねに相手のことや立場を考え、理解し合うのですね。勉強になりました。



### SADO教室

11月28日(水)実施

- \* 短い時間の中、茶道の歴史や精神を勉強でき、実際に茶道を体験でき、自分でお茶をたてることもしてみた。十分に茶道の世界に入った。茶室に入る前に、先生といっしょに礼をした。それから、床の間に飾られた掛け軸を拝見する。お菓子は、花の形をしていてすごく綺麗だった。味はとても甘かったけれども、お抹茶は少し苦かったので、味がよく合うと思う。最後に、自分がお茶をたててみた。
- \* 今回の体験のお菓子でも勉強しました。自分の国はいつも暑いから、四季のことはほとんど感じられませんが、日本は四季折々の国です。茶道でも四季の移り変わりのことを示して、晩秋のお菓子を食べました。先生が資料を準備して、説明して、本当に感謝しました。美味しかったのものを食べただけでなく、深く意味もココロの中で感じました。お茶も飲み物だけではなく、「悠々千方心」の気持ちも含みました。
- \* 初めて茶道を経験したのですが、本当に楽しかったです。この経験で、日本語だけでなく日本の文化についても学びたいと思いました。



## センター及び国際課の活動

- 10/3 新入学留学生オリエンテーション
- 10/19 グローバル人材養成プログラム(NZ)第2回説明会
- 10/24 グローバル人材養成プログラム(タイ)募集説明会
- 10/30 グローバル人材養成プログラム(タイ)チェンマイ大学によるプログラム紹介
- 10/31 CIEE国際ボランティア説明会
- 11/7 留学生のためのいけばな教室
- 11/11 外国人留学生 実地見学旅行(高野山)
- 11/20 JSAF留学説明会
- 11/28 留学生のための茶道教室
- 11/30 グローバル人材養成プログラム(NZ)第3回説明会
- 12/3 グローバル人材養成プログラム(タイ)第1回説明会
- 12/7 グローバル人材養成プログラム(NZ)第4回・(タイ)第2回合同説明会
- 12/10 グローバル人材養成プログラム(タイ)第3回説明会
- 12/14 グローバル人材養成プログラム(NZ)第5回・(タイ)第4回合同説明会

## センター来訪者

2018/10/5 Hsiao-ti Li 氏  
(City University of Hong Kong, Head and Professor,  
Department of Chinese and History)

2018/10/30 Karim Hussain 氏  
(Head Of Department, International Office,  
Language Institute Chiang Mai University)

奈良女子大学 国際交流センター

NEWSLETTER Vol.53 2018年12月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp